

「第2期稲沢市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）（案）」
パブリックコメントの募集結果について

- 1 募集期間 平成30年1月15日（月）から平成30年2月16日（金）まで
- 2 意見提出者数 3人
- 3 提出されたご意見の要旨と市の考え方
（ご意見は、文意等を損なわないように要約させていただいております。）

保健事業の実実施計画について

No.	ご意見の要旨	市の考え方
1	<p>計画では、メタボリックシンドロームに着目した事業が多くみられるが、がんなど他の病気の対策もしてほしい。その例として、がんの原因や予防、治療法を学べる講習会を開催してもらいたい。</p>	<p>本計画においては、優先すべき事業として、生活習慣病対策に重点を置いています。</p> <p>がん対策につきましては、健康増進計画（いきいきいなざわ・健康21（第2次）計画）で、がんによる死亡者の減少やがん検診の受診率向上などの目標を定めて事業を推進しておりますが、ご意見を参考に、今後の事業展開について検討してまいります。</p>
2	<p>健康フェスティバルなどの事業は旧稲沢市で開催されることが多いので、支所でも開催してもらいたい。</p>	<p>現在、健康フェスティバルは旧稲沢市の保健センターで実施しておりますが、健康診査やがん検診などの事業につきましては、支所を始めとする市内各所で実施しております。</p> <p>今後も、事業内容やその目的に沿い、多くの皆様に参加していただけるよう配慮してまいります。</p>
3	<p>健診データの分析において、「どの年代においても男性よりも女性の受診率が高い。」、特定健康診査の未受診理由として、「時間がない（忙しい）が最も多い」とあるが、これは、非正規、パートで働く被保険者の実態を表しているのではないかと。雇用者の意識を変えなければ健診の受診率は増えないので、事業者への対策が必要ではないかと。</p>	<p>医療機関の診療時間内での受診が難しいかたにつきましては、休日に集団健診を実施し、受診機会の拡大を図っております。</p> <p>また、稲沢市として参加している尾張西部圏域地域・職域連携推進協議会において、商工会議所や農業協同組合等の職域保健との連携事業を行っており、引き続き事業者及び従業員のかたへの普及啓発活動を推進していきたいと考えております。</p>

No.	ご意見の要旨	市の考え方
4	<p>健康フェスティバルなどのイベントだけでなく、きめ細やかな健康チェックを行える出前講座の開設、実施をしてはどうか。</p>	<p>稲沢市国民健康保険の40歳以上の加入者のかたは特定健康診査、40歳未満のかたは基本健康診査を、年1回無料で受診できますので、ご自身の健康状態の確認のため、ぜひ健康診査をご活用いただきたいと思いますと考えております。</p> <p>また、出前講座については、主に知識の普及、啓発を行うものであり、詳細な健康チェックを実施することは時間的にも難しいと考えますので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
5	<p>日常的な健康増進を進めるためには、公民館などで、自主的な運動（ヨガ、健康体操等）を無料で行える施設、環境整備が必要になる。高齢者のかたが気楽に、元気よく生活できるための場所の提供、環境整備を検討してください。</p>	<p>市民の皆様が自主的に健康増進や疾病予防に取り組むために、気軽に健康活動ができる機会は重要であると考えておりますので、皆様の取り組みを支援できるよう努めてまいります。</p>
6	<p>P17の「特定健康診査の未受診理由」で、「時間がない(忙しい)」が6割を占めていることから明らかかなように、市民は自らの健康にかまうことができない状況にある。</p> <p>市民が健康で生活するために、貧困と格差をなくすことがなによりも重要で、こうした点に言及しないで、保健事業計画を達成することはできないのではないかと。</p>	<p>医療機関の診療時間内での受診が難しいかたにつきましては、休日に集団健診を実施し、受診機会の拡大を図っております。</p> <p>また、特定健康診査は、年1回無料で受診していただくことができます。</p> <p>定期的に健康診査を受診して自らの健康状態を確認することは、将来にわたって健康を維持するために必要でありますので、引き続きその重要性の啓発に努め、保健事業を推進してまいります。</p>